

ユニークな木のおもちゃが並んだ企画展「岡崎市岡町のおかざき世界子ども美術館で」



木の大型おもちゃ 子どもたち夢中に

岡崎 自由に遊べる企画展

木のおもちゃデザイナーで、愛知教育大の樋口一成教授が考案したユニークな大型のおもちゃで自由に遊べる企画展「動きや音を楽しむ 木のおもちゃ展」が、岡崎市岡町のおかざき世界子ども美術館で開かれている。六月二十七日まで。

高さ二層超のタワーや緩い坂など、触れることのできる約六十点を展示。それぞれ木の球を転がしたり、ドーナツ形のこまがゆっく

りと動く仕掛けがある。精巧に目盛りが付いた巻き尺や本物そっくりのカンナの形をしたベンチも並ぶ。階段状の坂のおもちゃは、球やこまが下るたびに「かたん、ことん」と小気味よい音が響き、子どもたちはたちまち夢中になった。スギやヒノキの香りも立ち込めて、木のぬくもりにも触れ合った。

母と弟と来場した岡崎市愛宕小二年の伊予田唯花さんは「耳に残る音。おもちゃもいいにおい」とうれしそうに話した。

月曜（五月三日を除く）と五月六日が休館。高校生以上五百円、小中学生百円。午前九時～午後五時。

岡同館 0564(53)3511

（角野峻也）